

創刊号

2017.12

# 恕 - じょ -



## 目次

- ・ 耕和会の創立30周年のごあいさつ（理事長挨拶）
- ・ 創立30周年記念式典を行いました
- ・ 改めまして迫田病院のご紹介です！
- ・ 地域医療連携部のご紹介
- ・ お知らせ

迫田病院 理事長 迫田 耕一郎 より ご挨拶

## 耕和会の創立30周年のごあいさつ



医療法人耕和会は平成29年10月2日に創業30周年を迎えました。礎を築いて頂いた創成期の職員の皆様、多大なご支援を賜った多くの関係者の皆様、そして心を育んで頂いた故郷の皆様に深く感謝申し上げます。

耕和会の使命は医療と看護と介護です。病気や障害を抱える人の苦しみを和らげることです。それに命を使いきることです。人間の欲求は果てしないものです。生理的欲求や尊厳そして自己実現をしたいという欲求もあります。五感が発達した人間の肉体と心は意識し像を思い浮かべ求めるものが得られないと苦しみます。愛するものとの離別にも憎いものと会って暮らさなければならないときも苦しみます。病や障害や老いはそれに拍車をかけます。愛しい人を護り幸せになろうと働いている私たちですがこの世は流転の四苦八苦の旅のようです。

私達の職場は命の理由を学ぶ最適の現場です。耕和会の事業所は其々に専門的役割を担い「自分だったらどう処遇されたいか」を念頭においています。迫田病院は昭和62年10月2日に医療とリハビリを担おうと開院しました。サンヒルきよたけは平成7年6月にリハビリと介護を担おうと開設されました。GH太陽の丘は平成14年に認知症に対応しようと開設されました。社会医療法人耕和会と兄弟組織である城ヶ崎小戸の家は平成23年に開設され介護と看取りを担おうと社会福祉法人耕和会により開設されました。ただ専門分野は単独で命題を完結することは出来ません。隙間を埋める連携と協働が必要です。在宅支援センターは病院や法人外施設や訪問診察・訪問看護と連携し在宅療養をマネジメントします。医療連携室は医療や介護が継続的に施されるよう地域の医療機関や介護施設と連携しています。地域包括支援センターは宮崎市の委嘱事業ですが民生委員や自治会や行政と協働し生活苦や虐待に対応しています。公民館では定期的に保健や衛生に関する啓蒙活動を行っています。課題は在宅総合センター

会議に諮ります。医療法人耕和会は法人内資源と地域資源を活用して総合診療を目指しています。耕和会は和を耕すと書きます。耕一郎の耕、美和子の和です。朗らかに和が耕せれば幸いです。

私たちの合言葉は「鬼手仏心」です。同志は「自分だったらどう処遇されたいか」を念頭において「幸せに欠損する部分の穴埋め」を工夫しています。鬼手とは医療の技術です。仏心とは慈悲の心です。医療の技術は鬼の手のように。手術で体を傷つけ検査や採血やリハビリで苦痛を与えます。抗がん剤や人工呼吸器、胃瘻はどうでしょう。治る病は幸いです。しかし治らない末期ガンや難病もあります。老化や認知症はいかがでしょう。その苦しみを患者さんに学び慈しみの心を培うのです。鬼手仏心に集う同志は駒のように回ります。逆風でもヨットのようにはバランスを保ち前に進みます。帆が強風や荒波で破れたら修復しながら改革を試みます。しかし急迫は事を破ります。目に見えないストレスを職員に与えます。事を成すのは寧耐です。仕事に必要な技術や能力そして情熱を活かすのは考え方です。ポジティブな考え方が必要です。対立する考え方のどちらか一方を安易に選択してはなりません。飽くなき討論を行い第3の案を導き出そうとする姿勢が求められます。相乗効果を生みだすべく模索するのです。それがベクトルを合成する力であると信じています。

医療経営は年ごとに厳しさを増しています。経営は日本経済や国策に左右されます。経済基盤を安定させなければなりません。対応策の一環として耕和会は平成22年に特定医療法人化、さらに平成29年4月に社会医療法人化しました。これは租税対策で顕在的内部留保を高めるためです。次世代へのパトタッチに欠かせないものです。医療法人再編も念頭におくべき課題です。

伏して皆さまに益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の心に安らぎが宿り益々良いお仕事がなされますように念じながら30周年の御礼とさせていただきます。

※「創立30周年記念誌」より、一部抜粋しております。

## 創立30周年記念式典を行いました

平成29年10月14日(土)に宮崎観光ホテルにて、社会医療法人 耕和会 創立30周年記念式典を開催いたしました。式典には、来賓者や職員など約250名の方にご参加いただきました。

サウンドセラピスト AIKA様のコンサートから始まり、ドキュメンタリー作家 神渡 良平様の基調講演、歌手 さだまさし様によるサプライズコンサートなど、会場は大盛り上がりでした。

御祝辞を頂きました方々、ご参加くださいました方々ありがとうございました。

迫田病院も創立30周年を迎えました。これからも『すべてを患者様のために、すべてを利用者のみなさまのために』の理念のもと、地域に必要な医療・介護・福祉を提供してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



『2017年(平成29年)10月15日 宮崎日日新聞掲載記事』

## 当院の特色

### 1 最新機器をそろえた内視鏡室

- 食道・胃・十二指腸内視鏡検査(経鼻・経口法) ●大腸内視鏡検査(前例に拡大内視鏡検査を行っています)
- 消化管内視鏡治療(粘膜切除術:EMR、粘膜剥離術:ESDなど)

### 2 大腸肛門センター

大腸肛門を中心に様々な消化管症状に対応しております。便秘・下痢、下血、腹痛などおなかとおしりにまつわるお悩みの方から嘔気・嘔吐、胃痛などの訴えまで。当院での手術は日帰り～短期滞在手術を中心とした成人の痔、胆石症と胃・大腸の腹腔鏡手術を行っております。

### 3 甲状腺をはじめとした、各専門外来

年森医師の甲状腺外来(月、水、金、第2、4土曜)をはじめとし、鼠径ヘルニア(火曜午前)、痔(火曜午後)、下肢静脈瘤(第2土曜)など、各専門外来を設け診療を行っています。予約制となっておりますので、事前にお問い合わせください。

### 4 糖尿病・高血圧症・慢性腎臓病をはじめとする生活習慣病

近年、生活習慣の変化(主に食生活の欧米化や運動不足)に伴い、生活習慣病が増加しています。

当院では、糖尿病、高血圧、脂質異常症(高脂血症)、高尿酸血症、肥満症、メタボリック症候群などの生活習慣病の診療に特に力を入れております。

改めまして

## 迫田病院のご紹介です！

### 病院理念

すべてを患者さまのために、すべてを利用者のみなさまのために

### 理念達成のための行動目標

- 1、良質な地域医療と福祉の提供
- 2、堅実経営



### 社会医療法人 耕和会 迫田病院のあゆみ

昭和62年10月	迫田病院 開設
平成元年12月	訪問看護(訪問診察・訪問リハ)実施
平成2年7月	院内託児所 開設
平成3年11月	医療法人 耕和会 迫田病院 となる
平成5年6月	別館増築
平成7年6月	老人保健施設 サンヒルきよたけ 開設
平成7年7月	病院内に宮崎赤江在宅介護支援センター 開設
平成10年4月	迫田病院敷地内に在宅部門・院内託児所棟 新設 デイケアセンター春風・城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな 開設
平成12年4月	サンヒルきよたけが介護老人保健施設となる
平成14年4月	グループホーム太陽の丘 開設
平成15年4月	城ヶ崎ヘルパーステーションたんぼぼ 開設(平成25年4月末 休止)
平成16年4月	病床数 108床へ 変更
平成20年4月	赤江北地区地域包括支援センター 開設
平成23年4月	特定医療法人となる
平成24年5月	病床数 104床へ 変更
平成29年4月	社会医療法人となる

## 診療科

外科 / 大腸・肛門外科 / 消化器外科 / 内視鏡外科 / 胃腸外科 / 血管外科 / 内科 / 糖尿病内科 / 腎臓内科 / 内分泌・代謝内科 / 消化器内科 / 神経内科 / 血液内科 / リハビリテーション科 / 放射線科

## 外科



理事長・院長  
**迫田 耕一郎**  
一般外科全般



大腸肛門センター 外科部長・地域医療連携部 部長  
**迫田 哲平**  
腹部全般の腹腔鏡手術・肛門疾患全般



**杉田 諭**  
消化器外科・鼠径ヘルニア

**吉田 悦男**  
一般外科全般

**浦 美里**  
血管外科・下肢静脈瘤手術

## 内科



医局長・内科部長  
**佐々木 誠一**  
糖尿病・甲状腺疾患・内分泌代謝疾患・生活習慣病・一般内科



大腸肛門センター 内視鏡部部長  
**木村 友昭**  
拡大内視鏡を用いた消化管腫瘍診断 内視鏡治療 (EMD・EDS) など



在宅総合部 部長  
**佐々木 万里代**  
腎臓・高血圧・甲状腺疾患・生活習慣病・一般内科全般領域



**年森 啓隆**  
糖尿病・甲状腺疾患・内分泌代謝疾患・生活習慣病・一般内科

**土居 芳枝** 糖尿病・生活習慣病・一般内科全般

**鈴木 斎王** 血液内科・一般内科全般

**重草 貴文** 呼吸器内科・一般内科全般

**河上 彩恵** 消化器内科・一般内科 (健診・訪問診察担当)

麻酔科部長 **香月 博** 麻酔科

**遠藤 公彦** 放射線科

# 地域医療連携部のご紹介

地域医療連携部は、患者さま、そのご家族からの医療・介護・福祉に関する相談をお受けしています。また、地域の医療機関や介護福祉施設との円滑な連携、在宅復帰への調整等のお手伝いをしています。平成29年4月からメンバーが変わりました。まだまだ不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



### 部長 医師 迫田 哲平

広報誌は怒りました。「其れ怒か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ」(論語)。意味は「もっと自分を思いやる、自分を奮い立たせることが大切」。まず我々が心身ともに元気な状態を保ち、受診者にその元気を提供することを心がけて行きたいと思っています。



### 課長 看護師 舟井 博美

皆様こんにちは。平成30年度は医療と介護の同時改訂があり、今まで以上に地域と医療の連携が求められると言われていました。迫田病院が地域の病院としての役割を果たし、当部署がその懸け橋となるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 社会福祉士 谷口 弘子

今年はこれまでで一番早く1年が過ぎた気がします。平成29年4月より迫田病院地域連携部で相談員をしています。まだ不慣れで分からない事が多く、学ばなければならない事だらけですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



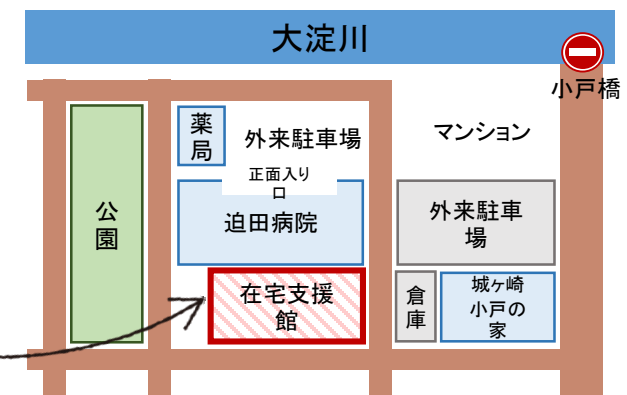
### 相談員補助 中村 有希

はじめまして。地域医療連携部、相談員補助の中村と申します。相談員としてまだまだ経験が浅く、至らない点もあるかと思いますが、患者様や地域の皆様のため、施設や医療機関とのより良い連携のために日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



### 事務 川田 由奈

初めまして。地域医療連携部 事務の川田と申します。昨年の8月に入社し、一年ほど経ちました。まだまだ勉強不足、経験不足な部分がありますが、事務という立場からサポートし、連携強化に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



地域医療連携部は  
こちらの在宅支援館の方にいます！

## お知らせ

### 内科外来予約制の導入について

患者様の待ち時間につきましては、予めより大変ご迷惑をおかけしております。

それに伴い、平成29年10月より内科診察（佐々木医師・土居医師）の待ち時間短縮と混雑を避けるために**診察時間の予約制**を導入することになりました。

内科診察の際は、必ず予約時間内に受付をお済ませください。

原則として予約順に診察しておりますが、初診の方、緊急に処置が必要な方、患者様の状態によっては順番が前後することがございますのでご了承ください。

出来る限りお待たせしないよう職員一同努めておりますが、やむを得ず時間がかかる場合もございます。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### インフルエンザについて

#### ● 今年のインフルエンザウイルス

季節性インフルエンザのウイルスには、A(H1N1)亜型(平成21年に流行した新型インフルエンザと同じ亜型)、A(H3N2)亜型(いわゆる香港型と同じ亜型)、2系統のB型の4つの種類があり、いずれも流行の可能性があります。流行しやすい年齢層はウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。宮崎県では、平成29年第44週(10月30日から11月5日)の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点医療機関からの報告数が65人(定点あたり1.10)となり、昨年より4週間早い流行期入りが発表されました。

#### ● インフルエンザワクチンが不足している？！

厚生労働省が10月6日、今年度のインフルエンザワクチンの製造量が2528万本で、昨年度の使用量2642万本を下回る見通しだと明らかにしました。ワクチンに使うウイルス株を選び直した影響で、過去5年間で最も少ないそうです。当院でも、11月中旬ごろからワクチンが不足しており、入荷は未定の状況です。

予防接種を希望される方は、お手数をおかけいたしますが事前にお電話にてお問い合わせください。

#### ● インフルエンザ治療薬の種類と違いについて

インフルエンザの治療薬にはいくつか種類があります。それぞれのお薬の違いと特徴についてご存知ですか？

☆「タミフル」...カプセル剤です。小児では散剤による経口投与が一般的です。

☆「リレンザ」...リレンザは吸入薬で、専用の吸入器を使って1日2回・5日間にわたって吸入します。

☆「イナビル」...リレンザと同じ吸入薬です。1回吸入するだけで効果を得られます。服用が1回だけで済むイナビルは内服を忘れる心配もなく途中で内服をやめてしまうということも防げます。

☆「ラピアクタ」...点滴薬です。乳幼児や高齢者などカプセルを飲んだり粉薬を吸入したりするのが困難な患者さんにも投与することができます。

どのお薬も用法容量を守って正しく使うことが大切です。インフルエンザでは、症状がなくなってもウイルスはまだ体内に残っています。治療を中断してしまうと再びウイルスが増殖を始めてしまう危険性があるので、処方されたお薬は必ず最後まで使いきりましょう。



## 周辺マップ・アクセス



### お車でお越しの場合

南宮崎駅より▶車で5分

宮崎駅より▶車で8分

### バスをご利用の場合

【宮交シティ70番 飛江田団地線】→【東大淀1丁目】→【恒久小入口】→【城ヶ崎】  
(城ヶ崎バス停より徒歩5分)

## 関連施設

◇城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな TEL:51-6800 FAX:51-8877

◇宮崎赤江在宅介護支援センター TEL:51-0116 FAX:52-0171

【所在地】〒880-0917 宮崎県宮崎市城ヶ崎3丁目2番地1

◇介護老人保健施設 サンヒルきよたけ TEL:84-0333 FAX:84-0700

◇グループホーム 太陽の丘 TEL:85-8668 FAX:85-8660

【所在地】〒889-0913 宮崎県宮崎市清武町木原5886-16

◇宮崎市赤江地区地域包括支援センター TEL:63-5310 FAX:63-5311

【所在地】〒880-0913 宮崎県宮崎市恒久3丁目30番地24

◇社会福祉法人 耕和会 特別養護老人ホーム 城ヶ崎小戸の家 TEL:83-0117 FAX:83-0022

【所在地】〒880-0917 宮崎県宮崎市城ヶ崎3丁目3番地3

## 編集後記

このたびは創立30周年という節目を記念して、地域医療連携部の広報誌を創刊させていただきました。タイトルの「怒(じょ)」は「思いやり」という意味です。迫田哲平医師が考えてくださいました！季刊誌として年4回ほどのペースでの発刊を予定しております。スムーズな連携実現の為、情報発信を行っていきたくと考えております。ご意見・ご感想等ございましたら地域医療連携部までよろしくお問い合わせいたします。 事務 川田



〒880-0917 宮崎県宮崎市城ヶ崎3丁目2番地1  
代表 TEL.51-3555 地域医療連携部直通 TEL 51-3552  
ホームページ <http://www.kowakai.jp/>